

運営ニュース

令和5年4月号

環境を守る可燃ごみ処理施設



ごみを燃やすと排ガスが発生します。排ガスには有害な物質が含まれており、環境への悪影響となるないように、法律で成分ごとの排出量に制限があります。リサイクルの森では、法律で決められている規制値よりも厳しい基準値を設定し、それを超えないように努力しています。

法律で排出量が制限されている物質には下記のものがあります。

- ばいじん・・・ごみを燃やした時に発生する微粒子。
- 窒素酸化物・・・ごみの中に含まれる窒素が燃える時に発生。ごみを高温で燃やした時に空気中の窒素と酸素が結びついて発生。
- 硫黄酸化物・・・ごみの中に含まれる硫黄分が燃える時に発生。
- 塩化水素・・・ごみの中の有機塩素化合物（塩化ビニル製品やラップ類）が燃える時に発生。
- 水銀・・・ごみの中に含まれる水銀成分が排ガスとともに放出。
- ダイオキシン類・・・ごみの中に含まれる塩素と有機化合物が不完全燃焼した時に結合して発生。

法規制値と自主基準値

	ばいじん	窒素酸化物	塩化水素	硫黄酸化物	水銀	ダイオキシン類
法規制値	0.08 g / N m ³	250ppm	700 mg / N m ³ ≈ 430ppm	規制 K 値 = 17.5 換算値：約 6000ppm	50 µg / N m ³	1ng-TEQ / N m ³
自主基準値	0.01 g / N m ³	50ppm	30ppm	20ppm	30 µg / N m ³	0.1ng-TEQ / N m ³



可燃ごみ焼却施設運転情報



焼却量と発電量

	1号炉(t)	2号炉(t)	合計	発電電力量(MWh)
令和5年1月	2290.91	1145.90	3436.81	1730.32
令和5年2月	1853.73	1923.92	3777.65	1827.41
令和5年3月	1135.38	2265.38	3400.76	1753.91

ばい煙濃度

採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定濃度			
			ばいじん濃度(g/m ³ N)	窒素酸化物濃度(ppm)	塩化水素濃度(ppm)	硫黄酸化物濃度(ppm)
組合管理値			0.01	50	30	20
1号炉排ガス	令和5年2月3日	令和5年2月27日	0.002	36	<4	1
2号炉排ガス	令和5年2月3日	令和5年2月27日	<0.001	32	<4	<1

イベントなどのお知らせ

モノ・コトショップ

ご家庭で不要になったけれど、まだまだきれいで活躍しそうなモノをお持ちいただき、必要な方々に譲る不要品交換のお店を開催しています。
※詳細、開催日はホームページをご確認ください。

牛乳パックでランタンを作ろう

開催日時 令和5年5月27日(土)
 ①午前の部 10:00～12:00
 ②午後の部 13:00～15:00
 予約受付 令和5年5月1日(月)～26日(金) 16:00まで
 募集人数 ①②共に5組 (25名程度)
 ※小学生以下は保護者同伴
 定員になり次第締め切りとさせていただきますのでお早めにお申し込み下さい。
 (株)くわなEサービス 0594-87-5133まで。
 同時開催 モノ・コトショップ 10:00～15:00

施設見学ツアー

月曜日から金曜日の9:30～16:00
 1回90分程度で見学コースを周ります。
 お1人から見学できますので電話でお気軽にお問合せください。



リサイクルの森では、24時間連続してごみ焼却炉を運転しています。作業員が常駐して運転状況の監視を行い、排ガスの状況には特に気を遣って監視しています。作業員に排ガス監視のポイントを聞きました。

①ごみの安定燃焼



焼却炉にごみを投入する前に、ごみクレーンを使ってごみを十分に攪拌し、水分量などごみの性状を均一にすることで、ごみの燃焼が安定し、排ガス状況も安定します。

②ごみの燃え方を監視



モニターに映し出される焼却炉内でごみが燃えている様子と、パソコン画面に表示される排ガス成分の変動を常に意識して監視しています。

◆豆知識◆

○排ガス中に含まれるダイオキシン類の量はごくわずかな量です。

- ・1ng（ナノグラム）=10億分の1g（ヒトの体は約60兆個の細胞で出来ていると言われています。その細胞1つの重さが1ngです）
- ・1pg（ピコグラム）=1兆分の1g（東京ドームを水でいっぱいにし、その中に角砂糖1gを入れ十分にかき混ぜます。その極めて薄い砂糖水1ccに含まれる砂糖の量が1pgです）

○TEQ（毒性等量）ダイオキシン類は200種類以上に分類されます。そのうち29種類に毒性がありますが、それらの毒性の強さはまちまちです。そこで、ダイオキシン類の量をダイオキシン類の中で一番毒性の強い2,4,7,8-四塩化ジベンゾジオキシン（TCDD）の量に換算した数値で表し、重さの単位の後に「-TEQ」を付けて表記します。



■モノ・コトショップ ご案内

リユース(Reuse)という言葉を知っていますか？リユースとは、一度使ったモノをごみにしないで何度も使うことです。例えば、自分では着られなくなった衣類を不要品として捨てるのではなく、欲しい人に譲り、使ってもらうことがリユースです。ここリサイクルの森では、週に1度程度、ご家庭で使わなくなったけど、綺麗でまだ使えるモノを必要な人にお譲りする不要品交換のお店を開催しています。お金は一切かかりません。子ども服があつという間にすぐに着れなくなってしまった！なんて経験ありませんか？子どもの成長はとても嬉しいですが困りますよね。そんな子ども服もたくさんご用意しています。季節の変わり目に欲しくなる大人向けの洋服もたくさんあります。買うと高いペットやタンスなどの家具類、食器類など色々あります。お一人様、持込み・引取りそれぞれ5点まで、ご利用できます。物々交換ではないので、手ぶらでも大丈夫です。お気軽にお越しください。開催日など詳細はリサイクルの森ホームページをご覧ください。



■イベント報告

2023年1月28日（土）

「貝合わせ～絵付け体験～」を開催しました。

講師の方に来ていただき、地元桑名の名産であるはまぐりを使った絵付け体験をしていただきました。貝合わせの歴史を教えていただいた後、皆さん思い思いに、絵の具で絵を描いたり、千代紙を切って貼ったりして、素敵な作品を完成させていました。完成後は講師の方に遊び方を教えていただき、皆さんで一緒に楽しみました。今回はお子様以外のあらゆる世代の参加者にお越しいただいたので、世代を超えた交流ができました。



2023年2月25日（土）

「わくわく省エネルギー教室」を開催しました。

自転車をこいでテレビやイルミネーションをつける体験や、手回し発電を体験していただきました。みんなでテレビをつけ続ける時間を競い合い、記録表を受け取り嬉しそうな様子でした。実際に自転車をこぐと、電気がつくまでにはたくさんこがないといけないので、身をもって電気を作ることの大切さを知るいい機会になりました。また、家の中で使われている身近な電化製品をみんなで調べて発表しました。皆さん電化製品を探して付箋に書き出し、たくさんの付箋をつけた用紙を見せながら、楽しそうに発表してくれました。



～体験イベント参加者様の声～

- ・楽しかったです。物を作ることは脳の活性化につながると思っています。またの機会を楽しみにしています。
- ・このような場所でいろいろなイベントがあることを知りませんでした。機会があればまた参加したいです。
- ・大変面白かったです。至れり尽くせりで非常に良かったです。婦人会や個人サークルでもやってみたいと思います。子供さん対象のイベントと思っていましたがグレードの高いものも作れ、周りの方の心遣いも良かったです。
- ・準備が良くされておりスムーズに工作を楽しむことができました。小さな子供と遊ぶ機会に恵まれました。ありがとうございました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

リサイクルの森では、廃材を使ったエコ工作を中心に年8回のイベントを開催しています。年齢制限はありませんので、お子様から大人の方まで多くの方にご参加いただいています。

次回は、2023年5月27日（土）「牛乳パックでランタンを作ろう」を開催します。

詳細はリサイクルの森ホームページをご覧ください。
ご参加をお待ちしています。

ホームページは
こちらから

